



2022年10月12日

各位

会社名 株式会社シー・ヴィ・エス・バイエリア
 代表者名 代表取締役社長 泉澤 摩利雄
 (コード番号 2687 東証スタンダード)
 問合せ先 広報・IR担当 (TEL: 043 - 296 - 6621)

2023年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当第2四半期までの各事業の進捗状況などを踏まえ、2022年4月13日に公表いたしました2023年2月期通期の業績予想について下記の通り修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年2月期通期連結業績予想数値の修正(2022年3月1日~2023年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年4月13日公表)	百万円 7,090	百万円 224	百万円 193	百万円 120	円 銭 24.31
今回発表予想(B)	6,847	35	16	3	0.61
増減額(B-A)	△243	△189	△177	△117	
増減率(%)	△3.4	△84.4	△91.7	△97.5	
(参考) 前期実績	7,209	△323	△358	△831	△168.45

(2) 2023年2月期通期個別業績予想数値の修正(2022年3月1日~2023年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年4月13日公表)	百万円 2,618	百万円 100	百万円 102	百万円 70	円 銭 14.18
今回発表予想(B)	2,379	△123	△122	△123	△24.92
増減額(B-A)	△239	△223	△224	△193	
増減率(%)	△9.1	—	—	—	
(参考) 前期実績	2,015	△451	△420	△812	△164.68

(3) 修正の理由

個別業績におきましては、期初の計画において、宿泊需要の改善が進むと見込んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症の第7波の到来の影響から、政府による観光振興策が延期され、インバウンド需要の回復が想定を下回ったことなどを受け、ホテル事業において、大幅な計画未達となったことに加え、9

月に当社が保有する賃貸用不動産を売却したことに伴い、下期計画における賃料収入の減収が発生するほか、固定資産売却益としておよそ4百万円を特別利益として計上することなどに鑑み、通期業績予想を修正いたします。今後は、10月11日より開始された政府による観光振興策『全国旅行支援』のほか、入国制限の上限撤廃に伴う訪日外国人観光客の増加も期待されることから、平日の稼働率、客室単価の改善が進み、下期業績はおおむね期初計画通りの推移を見込んでおります。

連結業績においては個別業績に加え、マンションフロントサービス事業では、マンション内のショップ運営や居住者向けのイベント開催支援などの付帯サービスが、行動制限の解除などを受け、上期業績においても好調に推移したものの、現場スタッフの確保に要す採用求人費が増加傾向にある状況を踏まえ、下期業績はおおむね期初計画通りの推移を見込んでおります。また、クリーニング事業では、生活様式の変化を受け、一般衣類のクリーニング需要が減少するも、上期業績において売上高は堅調に推移した一方、長期化する燃料等の資源価格の世界的高騰や国内物価上昇による影響から、営業利益は計画未達となりました。今後は、9月に自社工場を閉鎖するなど、事業拠点の集約による業務効率化・コスト削減を目的とする施策を進めるほか、既存顧客へのアプローチを強化し、ハウスクリーニングなど新たな需要の獲得に努めることで、下期業績はおおむね期初計画通りの推移を見込んでおります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。